

富沢中学校のあゆみ

昭和 63. 4	初代校長 佐藤英郎氏着任 (生徒数747名) 開校式 父母教師会・部活動後援会設立	19. 4	第8代校長 青沼一民氏着任 (生徒数782名) 開校20周年記念式典開催
8	校旗・校歌制定	21. 4	学校支援地域本部設置
平成 1. 3	同窓会発足	22. 4	第9代校長 庄子 修氏着任 (生徒数911名) 通学用力バン収納棚増設
4	柔剣道場完成	23. 3	東日本大震災により避難所を開設
2. 4	第2代校長 長山忠男氏着任 (生徒数809名)	4	校門前に掲示板を設置
5. 4	第3代校長 鈴木朋儀氏着任 (生徒数846名)	24. 2	同窓会より全国大会出場等掲示用横断幕寄贈
11	通学用力バン収納棚設置	3	新部室棟完成
3	開校10周年記念碑建立 校木植樹	25. 12	学校支援地域本部 サポーToかしわ 文部科学大臣表彰
9. 4	第4代校長 三澤志郎氏着任 わかあゆ学級設置 (生徒数856名)	26. 4	第10代校長 末永精悦氏着任 (生徒数950名)
11	開校10周年記念式典・記念祝賀会開催	28. 4	第11代校長 山田威彦氏着任 (生徒数909名)
12. 4	第5代校長 名川正彦氏着任 (生徒数781名)	29. 11	日本PTA全国協議会会長表彰
14. 4	第6代校長 高橋 泰氏着任 (生徒数714名)	30. 11	開校30周年記念式典開催
16. 3	校舎増築部分完成	31. 4	第12代校長 土田 茂氏着任 (生徒数933名)
16. 4	第7代校長 永野幸一氏着任 (生徒数704名)	令和 1. 8	エアコン設置
17. 2	太陽光発電装置設置	3. 4	第13代校長 清野俊也氏着任 (生徒数965名)
18. 4	スクールエコプラン省エネ還元モデル校	3. 5	日本善行会 環境美化の部 青少年善行表彰

令和4年度 学年分掌等一覧

校 長	清 野 俊 也	司書教諭・図書館主任	岩 淵 真 澄	スクールカウンセラー	高 山 智 仁
教 頭	鈴 木 丈 治	道徳教育推進教諭	藤 井 花 恵	さわやか相談員	高 畑 由 美 子
教 頭	小野寺 雅 美	特別支援コーディネーター	小 山 聡 子	図 書 事 務	高 橋 由 美 子
主幹教諭・教務主任	橋 本 亮 介	不登校支援コーディネーター (ステップルーム担当)	松 谷 貴 絵	図 書 事 務	柘 早 苗
地域連携主任	本 多 裕 聡	各校方式指導教員	橋 本 栄	給食パート	押 切 和 子
生徒指導主事	班 目 公 貴	メンター研修担当	齋 藤 宇 大	給食パート	堀 裕 子
研究主任	齋 光 吉	養護教諭	大 内 智 香 子	給食パート	鈴 木 恭 子
給食主任	織 田 美 鶴	養護教諭	高 橋 友 美	給食パート	森 由 美
防災主任	千 葉 政 孝	事 務 長	阿 部 桂 子	給食パート	高 泉 紅 実 子
管理主任	渡 口 博 貴	事 務	大 沼 幸 夫	P T A 事 務	三 瓶 さ と み
特別支援教育主任	後 藤 広 一	用 務	河 村 陽 子	国語科非常勤講師	木 幡 千 佳 子
保健主事	大 内 智 香 子	用 務	小 野 寺 公 吉	数学科学習指導支援員	大 友 紀 輝
進路指導主事	高 橋 由 起	A L T	ス ト ー ム ・ マ ン ソ ン	I C T 支 援 員	鎌 田 祐

所 属	1 学 年	2 学 年	3 学 年
主 任	宮 内 祐 美 子	高 木 玲 子	増 子 拓 郎
副 主 任	岩 瀬 利 宏	齋 光 吉	本 多 裕 聡
1 組	飯 野 真 希	千 葉 政 孝	神 山 智 行
2 組	五十嵐 玲 音	杉 崎 由 美	湊 梨 乃
3 組	熊 谷 健	石 川 詩 乃	渡 口 博 貴
4 組	砂 澤 智 奈 美	齋 藤 宇 大	戸 ヶ 瀬 貴 大
5 組	有 我 悠 佑	安 部 祐 馬	岡 本 一 志
6 組	小 林 れ い	岩 淵 真 澄	伊 藤 古 都
7 組	佐 々 木 智 広	高 橋 笑	内 海 綾 花
8 組	喜 夢 瑠	大 橋 顕 広	西 岡 慧
9 組	佐 藤 瞬	大 越 晟 揮	織 田 美 鶴
10 組		藤 井 花 恵	菅 野 理
副 担 任	佐 々 信 行 橋 本 栄 武 藤 樹 里	吉 田 和 正 川 村 結 夢 高 見 澤 陸	高 橋 由 起 二 階 由 貴 多 田 知 子 中 川 耀 太

所 属	特 別 支 援 教 育
主 任	後 藤 広 一
1 組	上 野 政 美
2 組	後 藤 広 一
3 組	小 山 聡 子
支 援 員	海 道 禎 子

校舎壁面のレリーフについて

富沢中が建っている富沢遺跡は弥生時代に栄えたと言われています。上が「脱穀をする人」、下にあるのが「鹿をねらう狩人」で、弥生時代の銅鐸に描かれた絵がモチーフになっています。



令和4年度 学校要覧

TOMIZAWA Junior High School



心ゆたかに たくましく
のびゆく生徒



仙台市立富沢中学校

〒982-0032 仙台市太白区富沢2丁目4番1号
TEL : 022-245-3751 FAX : 022-307-1636
E-mail : tomizawa@sendai-c.ed.jp URL : <https://www.sendai-c.ed.jp/~tomizawa/>

令和4年度 富沢中学校の目指す教育

学校教育目標

心ゆたかに たくましく のびゆく生徒

目指す学校像

生徒・教職員共に「ひとつ上」を目指し 皆の持ち味が融合する
受容的で協力的な一体感のある大規模校

- 笑顔あふれる学校
- 活力に満ちた学校
- 安心して学べる学校

目指す教師像

- 教育者として高い倫理観と使命感・情熱を持ち続ける教職員
- 人間味にあふれ生徒・保護者・地域・同僚との関わりを大切に
し続ける教職員
- 専門性や実践的な指導力の向上を目指し学び続ける教職員

今年度、
特に重点的に育成を
目指す資質・能力

『共によりよく生きる～豊かな人間性の育成』

- 自己実現に努める力の育成
- 他者と関わる力の育成

令和4年度 重点目標



重点目標1 豊かな心と健康な体の育成



- 1 自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための道徳性を養うために教育活動全体を通じて豊かな人間性を育む道徳教育を推進し、特に生命を尊重する心、思いやりの心に関する理解の深まりを図る。
- 2 いじめ防止対策の徹底を図るとともに、相談体制の充実といじめに関する実態把握調査等を実施し、早期発見早期対応に努める。
- 3 不登校生徒の社会的自立や学校復帰に向けた支援の充実を図るため、在籍学級外教室「ステップルーム」を新設し、専任の担任教諭を配置して、生徒が在籍学級において行っている諸活動と同等の活動を行うことができるよう支援する。
- 4 健康的な生活と疾病予防の習慣の定着を図り、体力の向上に努める。

重点目標2 確かな学力の育成



- 1 分かる授業とGIGAスクール端末を活用した授業づくりの追究
- 2 数学科1年生全学級全時間 TT 指導の継続
- 3 数学科2年生全学級週2時間同一教室内少人数指導の導入
- 4 数学科3年生への数学学習支援員配置の継続
- 5 学力向上の基盤となるあるべき学習規範の確立と学習習慣の定着
- 6 「人の役に立つ」と実感できる環境づくり
- 7 臨時休校等に備えたオンライン学習の準備と試行的実施
- 8 疑問を持った時の質問の仕方等についてのスキルの習得
- 9 望ましい家庭学習の習慣化
- 10 必要な生徒への放課後等を利用した学習支援の導入

重点目標3 25才の姿を夢に描く力の育成



- 1 仙台自分づくり教育を推進し、社会的・職業的自立に必要な基盤となるたくましく生きる力の育成
- 2 職場体験活動のコロナ禍における実施可能な在り方の追求と代替活動等の検討
- 3 たくましく生きる力育成プログラムを活用し、学習意欲向上を目指した「人の役に立つ」と実感できる環境づくりの推進
- 4 学級活動、生徒会活動や部活動を通して「人から必要とされている」と実感できる場の創出の工夫
- 5 日常生活費の支出など生活設計を通して、将来を見据え今の自分に何が大切かを考える機会としてのファイナンスパーク学習の実施

重点目標4 周りの人や社会のために行動できる力の育成



協働型学校評価重点目標 周りの人や社会のことを考えて、思いやりの行動ができる生徒

学校

- 学級・学年の一員としての自覚と多くの人に支えられていることへ感謝の心を持ち、自分のため、仲間のためにできることを考え実践するよう働きかける。
- 学校行事や部活動を通して、目標に向かって互いを認め合い行動する態度を育成する。
- コミュニケーション力、関わる力の育成

家庭

- 家族の一員としての自覚を持ち、家族内のコミュニケーションや挨拶を大切に、家事など家族の中での役割を果たすよう心がける。
- 家族のために自分のできることややるべきことを考え、自立的な態度を育む。

地域

- ボランティア活動や地域行事へ積極的に参加し、「人の役に立つ」と実感して、郷土愛や社会貢献について体感する。
- 地域防災活動を通して、その活躍や態度をほめられ、「人から必要とされる」自尊感情を高め、地域の一人としての地域貢献意識を高めたい。

富沢中学校の一年

4月	1学期始業式、入学式、新入生歓迎会、各種健康診断、父母教師会総会
5月	部活動集会、修学旅行(3年)、野外活動(2年)、校外学習(1年)、科学館学習(2年)、中総体強化期間、生徒会総会
6月	避難訓練、市中総体(含む水泳)、1学期中間考査
7月	合唱コンクール、ファイナンスパーク(3年)、大掃除、夏季休業、県中総体、三者面談
8月	夏季休業、家庭訪問・三者面談、実力考査(全学年)、市駅伝大会
9月	文化祭、1学期期末考査、生徒会立会演説会
10月	授業参観・保護者会、1学期終業式、市新人大会、秋季休業、2学期始業式、運動会、天文台実習(1年)
11月	進路説明会(3年)、地域連携型防災訓練、2学期中間考査、職場体験活動、教育相談・三者面談
12月	教育相談・三者面談、大掃除、冬季休業
1月	冬季休業、実力考査(全学年)、校内書きぞめ展、私立高校推薦入試
2月	私立高校入試、2学期期末考査、保護者会(3年)
3月	公立高校選抜入試、3年生を送る会、卒業証書授与式、保護者会(1・2年)、修了式、学年末休業、離任式

*行事は変更または中止となる場合があります。

学校支援地域本部 「サポーターかしわ」

「サポーターかしわ」は、平成21年度に設置されました。「できる方ができるときにできる支援をしよう」をスローガンに活動しています。平成25年度には「優れた『地域による学校支援活動』推進にかかる文部科学大臣賞」を受賞しています。「学校の応援団」として、生徒の学習や体験活動、ボランティア活動がより充実したものになるよう活動しています。



「サポーターかしわ」が支援する主な活動

- 茶道体験
- 学習サポーター
- 緑化活動
- 安全生活サポーター
- 読み聞かせ
- 花育・食育
- 絵手紙
- 地域連携型防災訓練

校歌

一 蔵王の山が 輝いている
 明るい朝の 飛ぶ小鳥
 伸びていく 命のままに
 足音高く われらは進む
 富沢の ふるさとの空
 遠い星座の またたく光
 未来をめざす 瞳きよらに

二 太白山の 姿やさしく
 さやかな緑 白い雲
 たくましい 力育てて
 高鳴る胸に われらは歌う
 名取川 響くせせらぎ
 太古の夢の よみがえる今
 歴史に学ぶ 心ゆたかに

作詞 扇畑 忠雄
 作曲 海鋒 義美